

Ashi Paddle 45 2023 バージョン

(脚固定パドル 45度、メッセージキーヤ内蔵バージョン)

取扱説明書



2023/07/13

7L4WVU

1. はじめに

本書は、Ashi Paddle 2023 について記載したものです。

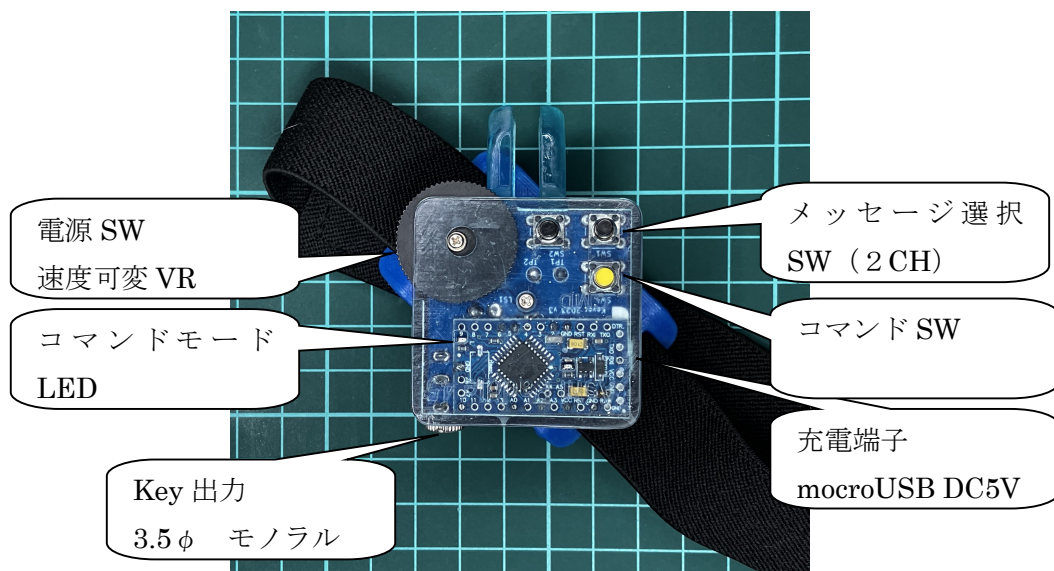
これまでの移動用の小型軽量 Ashi Paddle に有名な K3NG メッセージキーヤーを組み込んだものです。小型ながらリチウム電池を内蔵した充電仕様です。

注意事項

- ①本装置は、販売目的の商品ではなく、私が趣味で製作したものを愛好家の皆様に実費で頒布するものです。
- ②3D プリンターを用いた自作品です。ケースに傷や変形がある場合があります。
- ③高温の車内などにおいておくと変形する可能性があります。
- ④調整箇所はありませんが、パドルにがたつきがでたときは、ネジを閉めなおしてお使いください。
- ⑤仕様は、適宜変更されます。
- ⑥リチウム電池の取扱には十分注意願います。充電状態では注意を行い万一の発火事故などにも対応できるようにしてください。事故や損失が生じた場合でも、当方は一切責任を負いません。
- ⑦不具合の際は、写真等を添付してお問い合わせください。ベストエフォートで対応します(修理費用は送料含めて実費でご負担願います)

2. 外観

外観と名称を示します。ベルトをつけて脚に巻いて使ったり、添付のマグネットアダプターを取り付けることで机上の固定運用にも使用できます (ネジは強く締めないように注意願います)。



3. 操作方法

①電源スイッチを時計回りに回転させ ON にすると「HR」の発振音が鳴りパドルを操作するとモニター音が聴こえます。VR を可変することで速度が変わります。

レバーの短長音の切替や、モニター音の停止などはパドル操作のコマンドを送出で行えます。

②コマンド操作は以下のように行います（詳細は、K3NG キーヤーで検索すると沢山の資料があります）

コマンドボ SW を押した後に以下のコマンドを入力すると設定されます。再度コマンドボタンを押すことで通常モードになります。（コマンドモードはタイミングにより入りにくい場合があります。何度も押してみても音が鳴り、コマンド LED が点灯するまで操作してみてください）

A:lambic A モードへの切り替え

B:lambic B モードへの切り替え

D:Ultimatic モードへの切り替え

E:スピード表示 wpm

F:サイドトーン周波数調整

G:バグモード切替

I:TX への出力 on/off

J:短点長点比調整

N:パドルの左右切り替え

O:サイドトーン on/off

P#:プログラムメモリー入力（#は1`4の数字）

T:チューンモード

V:ポテンションメーターの on/off

W:スピード変更

X:コマンドモードから通常モードへ

Z:オートスペース on/off

③メッセージ入力

コマンド SW を押して、コマンドモード状態でメッセージ選択 SW のどちらか希望する CH を押します。そのあと一呼吸置いてメッセージをパドルから入力します。完了したらコマンド SW を押して確認して完了です

★初期化は、両パドルを ON にした状態で電源を入れてください。

ご不明点は、メール（714wvu@jarl.com）でご質問お願いします。